

第77期 報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

繋ぐを創る 世界を繋ぐ

リックスグループは、“販売・技術・製造・サービスの高度な融合”とパートナーとの“協創”により、世界の産業界の課題解決のためのソリューションを提供します。



事業紹介

商品

圧力発生機

プランジャーポンプ

高圧水の発生源となるポンプ
高圧水洗浄装置の動力源として
利用



応用機器・システム商品

ロッキーワッシャー

多用途の高圧水洗浄機



金属接合機 (TOX)

異種金属板を
接合する機械



付属機器・部品

オイルシール類

高圧の水・油を密封し
外に漏れないようにする
外部からダストが
侵入するのを防ぐ



関連技術商品

三方ピストン弁
(ロッキーバルブ)

高圧のガス等の流量を
調整する弁
主にタイヤメーカーの
加硫機に使用



製品

応用機器・システム製品

フラックス精密洗浄装置

半導体新製品 (CSP、
BGA等) の製造工程に
使用されるフラックス
を除去し、純水にて精密
仕上げ洗浄を行う装置



付属機器・部品

グリーンルーム対応ロータリージョイント

半導体業界で、CMP設
備などに水や研磨剤な
どを供給する回転継手



NC高圧洗浄機
(ジェットフレックス)
自動車業界向けの、高
圧水を利用した部品の
深穴の金属バリ取装置



工作機械用ロータリージョイント

マシニングセンタ
でクォーラント液を
スピンドルから噴
射する用途に使用
する回転継手

営業区分

リックスはお客様のニーズに
迅速・的確に対応できる顧客
密着型の「メーカー 商社」と
いう業態です。

商社機能

鉄 鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

工作機械

高機能材

環 境

紙パルプ

その他

メーカー機能

ごあいさつ

株主の皆様には、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第77期 (2022年4月1日から2023年3月31日まで) における業績の
とりまとめを終えましたので、ここに第77期報告書をお届けいたします。

行動規制が解除され、コロナ禍前の社会生活に戻りつつある中ではありますが、
変わることなく皆様の安心安全と健康をお祈りしております。また株主の
皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げ
ます。



代表取締役 社長執行役員 安井 卓

販売・技術・製造・サービスの高度な融合を目指す
メーカー商社として世界の産業界に貢献します。

Q 当期の営業概況について教えてください。

A 前年同期比で、売上高は13.1%増の452億23百万円、
営業利益は28.9%増の33億26百万円、経常利益は
25.5%増の37億48百万円、親会社株主に帰属する当期純
利益は34.7%増の27億63百万円となりました。

当期の世界経済は、高インフレ率が継続し、西欧諸国を中心
としたエネルギー価格の高騰等による景気の低迷が見られた
一方で、中国のゼロコロナ政策の解除等に伴い、サービス産業で
景気の回復が見られました。

また、日本経済は、世界の動向と同様にサービス産業による
設備投資が加速し、脱炭素やデジタル化に関する投資が継続
して増加したものの、海外経済鈍化の影響により、業界・部門に
よって投資機運にばらつきが見られました。

このような経済環境の中、当社グループでは中期3か年計画
「GP2023」に基づく施策に取り組んだ結果、2023年3月期連結
業績は、売上高452億23百万円 (前年同期比13.1%増)、営業
利益33億26百万円 (同28.9%増)、経常利益37億48百万円
(同25.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益27億63百
万円 (同34.7%増) となりました。

トップインタビュー

Q 当期のセグメント別事業の概況について教えてください。

A 紙パルプを除く全ての業界向けで着実に増収を果しました。

鉄鋼業界向けでは、整備部門だけでなく操業部門への営業活動に注力した結果、製鋼操業用特殊重機や安全対策用の柵及び取付治具、熱延工程向け特殊バルブの売上が伸びたほか、海外製鉄所の台風被害復旧向け機材販売も売上増加に寄与しました。この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は122億32百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

自動車業界向けでは、CASE市場で注目されている電池やモーター分野への営業・提案活動に注力した結果、電池製造工程に対し当社オリジナル品である脱泡機の販売が増加したことや、モーター製造工程向け自動化案件の受注などが売上増加に貢献しました。この結果、自動車業界向け全体としての売上高は94億46百万円(前年同期比18.0%増)となりました。

電子・半導体業界向けでは、設備・保全部門に対する営業活動に注力した結果、半導体後工程向けに当社オリジナル品であるフラックス洗浄装置の販売が増加したことや、半導体エッチング装置向けの部材の受注が増加したことなどが売上の伸長に寄与しました。この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は68億77百万円(前年同期比17.7%増)となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、前期に続き開発案件のフォローや

新規案件、設備投資に関する営業活動に注力した結果、当社グループ会社のオリジナル品であるバルブ・タイヤ関連機器及び断熱板の販売が国内・国外問わず好調であったことにより売上が増加しました。この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は33億94百万円(前年同期比26.9%増)となりました。

工作機械業界向けでは、工作機械の複合化、自動化の要求に対し営業・開発に注力した結果、当社オリジナル品であるロータリージョイントの売上が継続して増加したことに加え、周辺機器の需要も高まりました。また濾過装置メーカーや加工機メーカー向けにポンプ類の販売が増加しております。この結果、工作機械業界向け全体としての売上高は24億36百万円(前年同期比30.0%増)となりました。

高機能材業界向けでは、高機能フィルム業界、医薬・化粧品分野の開拓に注力した結果、原料供給用のタンクの新設案件やそれに付随するポンプ類の受注等により売上が増加しました。この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は19億73百万円(前年同期比13.6%増)となりました。

環境業界向けでは、近年重要視されている環境産業・水ビジネスへの深耕に注力した結果、水処理プラント向けポンプ等の機器や省エネに関するインバーター類の販売、焼却設備向けの環境対策品の販売が売上の増加に寄与しました。この結果、環境業界向け全体としての売上高は20億94百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

紙パルプ業界向けでは、最先端のバイオマス素材であるCNF分野やケミカル素材分野、エネルギー分野への商材開発に注力した結果、CNF分野向け装置の受注等で売上を伸ばしましたが、原動機類が非更新時期であったこと等による落ち込みを埋めるまでには至りませんでした。この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は7億89百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

Q 今後の経営ビジョンなどについて教えてください。

A 経営環境に不透明さを増す要因が依然ある中、2024年3月期は増収減益を見込んでおります。

今後の見通しとして、新型コロナウイルス感染症の鎮静化に伴う経済活動の拡大やインバウンド需要の増加など、経済環境にプラスの効果を与える要因はあるものの、地政学的なリスクや資源価格の上昇等、経営環境に不透明さを増す要因が依然としてあり、また、海外経済や金融、為替市場の動向など注視すべき項目が多く存在しています。このような中、当社グループとしては、既存の顧客に対する営業強化を図るとともに、新規製商品の開発や新規分野の開拓を進めるなど、中期経営計画の諸施策を行ってまいります。

以上のことから、2024年3月期連結業績の見通しにつきましては、売上高471億円(前年同期比4.1%増)、営業利益34億40百万円(同3.4%増)、経常利益35億50百万円(同5.3%減)、親会社株

主に帰属する当期純利益24億30百万円(同12.1%減)を見込んでおります。

Q 株主様へのメッセージをお願いします。

A プライム市場の上場維持基準の適合を継続的に維持するためにも、中長期的に持続可能な成長及び企業価値の向上を図ってまいります。

当期末配当金につきましては、直近予想よりも15円増配となる1株当たり85円の配当を実施させていただきました。これにより中間配当50円を加えた年間配当金は、1株当たり135円となります。

また当社は、移行基準日(2021年6月末時点)において、プライム市場の上場維持基準のうち、「1日平均売買代金」及び「流通株式時価総額」について基準を充たしておりませんでした。適合計画書(2021年12月公表)に基づき各種取り組みを実施してまいりました。その結果、「1日平均売買代金」については2022年12月末時点において、「流通株式時価総額」については、2023年3月末時点において基準を充たしていることを確認し、全ての基準に適合したことをご報告いたします。株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Corporate Identity

培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。

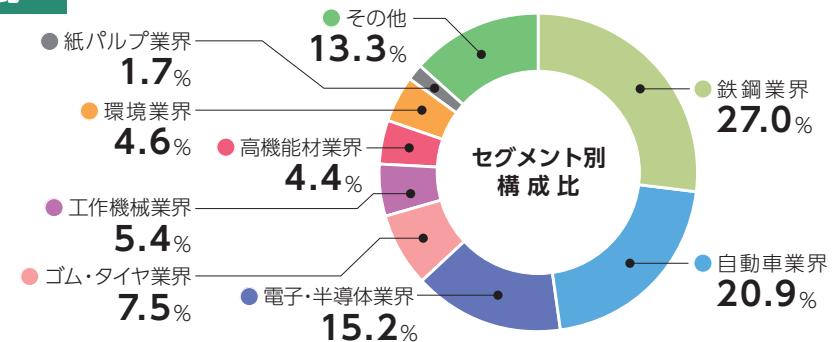


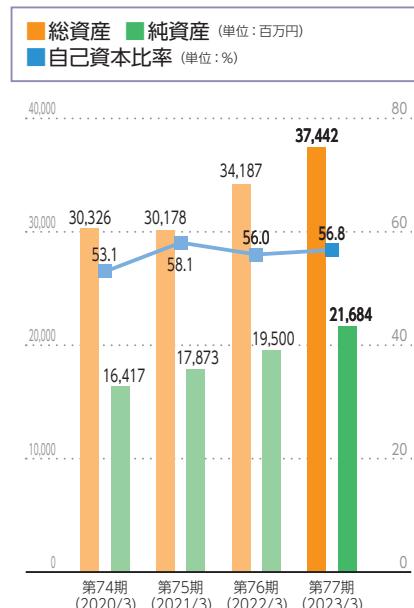
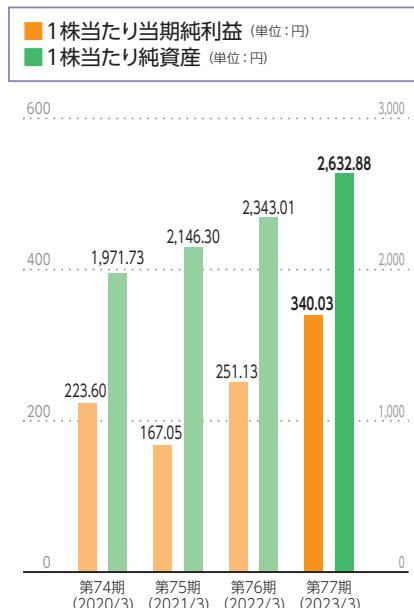
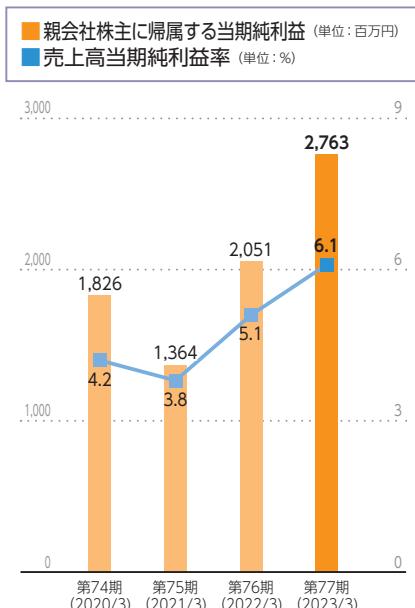
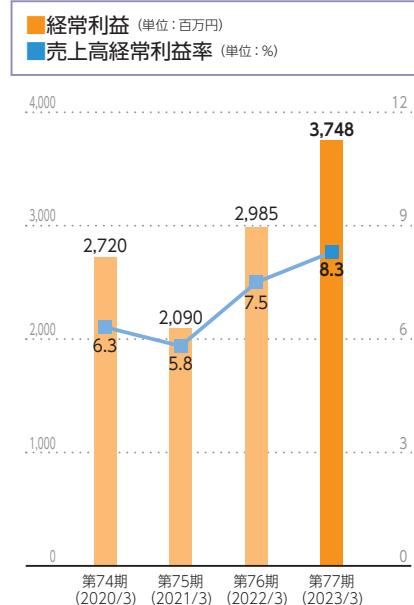
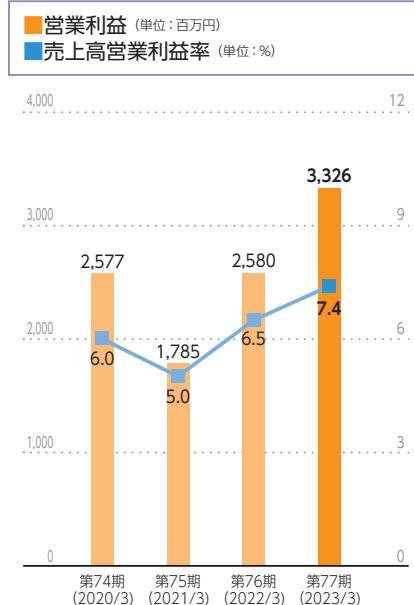
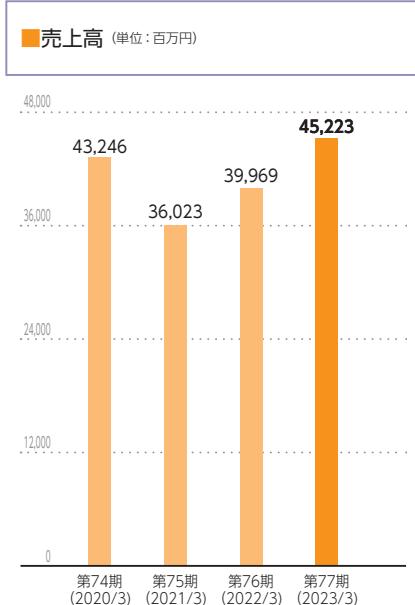
- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY(工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性

リックスの青色
信頼を表すブルー

リックスの赤色
躍動感あふれるレッド

セグメント別構成比





当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業の少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な経営課題となっております。

2021年度より中期3カ年計画「GP2023」を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

GP2023 (Rix Growth Plan) 2021年度～2023年度

ビジョン リックスグループは、“販売・技術・製造・サービスの高度な融合”とパートナーとの“協創”により、世界の産業界の課題解決のためのソリューションを提供します。

目標 2023年度 連結経常利益 **35億円** の達成

- 方針**
- 1. ビジネス領域の拡大**
 - ① 現状の業界・業種の拡大 (顧客開発部門への複合型メーカー商社※1機能の強化)
 - ② 成長分野の開拓 (車の電動化、再生エネルギー、医薬・化粧品、建機等の新規顧客開拓と流体制御技術を軸とした新商品・新製品・新サービス開発強化)
 - ③ 海外展開の強化 (北米、中国、インドの事業強化)
 - 2. 収益性の向上**
 - ① 事業活動の効率化 (DXの推進)
 - ② オリジナル品※2比率の向上 (新製品・新商品開発)
 - 3. 人材・組織の革新**
 - ① ライフ・ワーク・バランスの充実
 - ② RIXing Action※3を実践できる人材の育成、定着
 - ③ 社内外協創を実現する組織の構築
 - 4. ステークホルダーリレーションの向上**
 - ① CSV-Creating Shared Value (リックスのビジネスを通じた社会貢献) 活動の推進
 - ② ステークホルダーとのコミュニケーションの強化
- ※1 複合型メーカー商社とは、モノ売りだけではなく、お客様のモノづくりのプロセス全体 (企画、開発、生産技術、製造現場、保全、廃棄) に対応できる機能 (試作・開発支援、メンテナンス、据付、再生・廃棄、運用等) を持ったメーカー商社のこと。
 ※2 オリジナル品とは、リックスグループのみから提供できる商品・製品・サービスまたはその組み合わせのことをいう。
 ※3 RIXing Actionとは、RIXの経営理念・行動指針、社風・歴史、ビジネスモデル等を表す総称であり、脈々と受け継がれてきたもの。

01 リックス協創センター 建設決定



リックス協創センター 完成イメージ図

建物概要

所在地	福岡県糟屋郡粕屋町
施設用途	流体制御技術を軸とした新製品の研究・開発
面積・構造	1,055㎡(延べ床面積3,802㎡) 地上4階建て
建物内部	組立室、実験室、計測室、設計室、クリーンルームなど
完成	完成:2024年6月末(予定)
投資額	約19億5千万円(当社として過去最高の投資額)
その他	環境・省エネ対策としてNearly ZEB採用

リックス協創センターについて詳細は下のQRコードよりご覧いただけます



建設目的

既存製品にとらわれない
新製品・商品・サービスの開発

これまで / 課題

- 開発業務については、既存製品(ロータリージョイントや洗浄装置)の改良や新機能付加がメイン
- 次の柱となる新製品・商品・サービスの開発は、上記が多忙になればなるほど後回しになっていた

リックス協創センターでの取り組み

流体制御技術を核とした
新製品・商品・サービスの開発を推進

顧客・社会課題解決につながる開発



競争力・営業利益UP



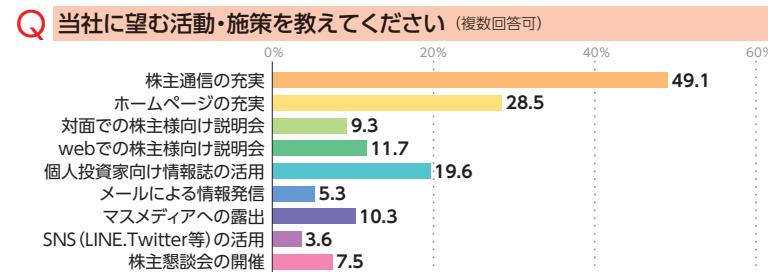
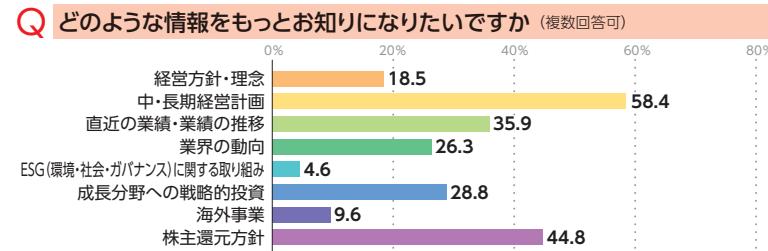
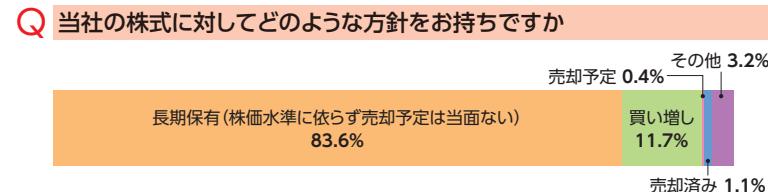
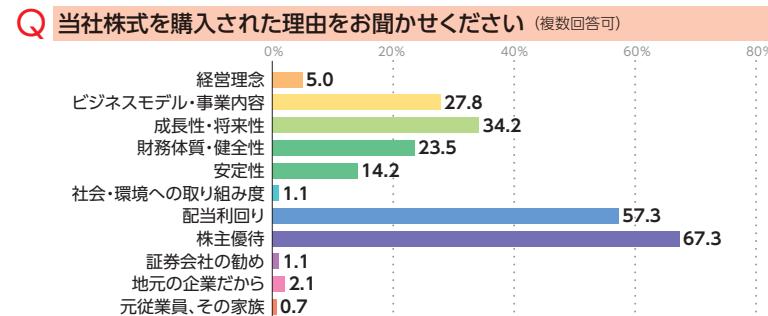
協創とは:顧客・仕入先・大学・ベンチャー・国の機関などと協力してソリューションを創り上げること

02 東証プライム市場 上場維持基準 全基準適合

当社は移行基準日(2021年6月末時点)において、プライム市場の上場維持基準のうち、「1日平均売買代金」と「流通株式時価総額」について基準を充たしておりませんでした。適合計画書に基づき各種取り組んできた結果、「1日平均売買代金」は2022年12月末時点、「流通株式時価総額」は、2023年3月末時点において基準を充たし、全ての基準に適合致しました。今後も維持基準に適合し続けるため、各種取り組みを検討していきます。

株主アンケート結果ご報告

当社では、IR(投資家向け広報)活動の一環として株主の皆様といっそうのコミュニケーションを図るべく、第77期中間報告書で株主の皆様にご協力をお願いしてアンケートを実施させていただきました。この結果、多くの株主様からたくさんのご回答、ご意見をいただき誠にありがとうございました。ここにアンケートの結果をご報告するとともに株主の皆様からの声を一部ご紹介いたします。皆様からの貴重なご意見を真摯に受け止め、当社について一層ご理解を深めていただけるよう、今後のIR活動に活かしてまいります。



株主様からのご意見・ご要望(自由回答)

- 男性 40代: 常に10年後を見据えたビジョンの策定を。
- 男性 50代: ROE向上に努められたい。従業員を大切に。
- 男性 70代: CSRの遵守、堅実経営、株主優待の継続。
- 女性 30代: イベントにて、貴社担当者様より説明を受け、すぐに購入しました。担当者様の熱意ある説明、また充実した説明内容に負けました。良きご提案、有難う御座いました。
- 女性 50代: 社員の皆様がイキイキと働かれ、ご活躍されることを期待します。応援しております。
- 男性 40代: 株主優待をありがとうございます。
- 女性 50代: 今までオリックスは知っていたが、リックスという会社があることを知りませんでした。頑張ってください。
- 男性 30代: 個人投資家へ知名度の向上のため、IRイベントへ積極的に参加するのモよいかと思います。

海外ネットワーク

(2023年3月31日現在)



事業所

(2023年3月31日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。

本社	★管理本部、企画本部、海外営業統括部
営業本部	■グローバル営業本部
営業所	●自動車事業部 豊田営業所、西尾営業所、小倉営業所 ●鉄鋼事業部 鹿嶋営業所、千葉営業所、君津営業所、東海営業所、和歌山営業所 ●東部営業部 苫小牧営業所、仙台営業所、宇都宮営業所、埼玉営業所、東京営業所、西東京営業所、横浜営業所、平塚営業所、富士営業所、名古屋営業所、北陸営業所、豊橋営業所、四日市営業所 ●西部営業部 滋賀営業所、大阪営業所、加古川営業所、姫路営業所、倉敷営業所、広島営業所、福山営業所、周南営業所、四国営業所、北九州営業所、福岡営業所、長崎営業所、大分営業所、熊本営業所、鹿児島営業所
工場	■福岡事業所 生産本部
研究・開発所	▲技術開発センター ▲中部テクニカルセンター ▲横浜事業所 NB開発本部



会社概要

(2023年3月31日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 447名(連結707名)
- 主要な事業内容 高圧液圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

取締役及び監査等委員である取締役

(2023年6月22日現在)

代表取締役社長執行役員	安井 卓	取締役(常勤監査等委員)	田原 俊二
代表取締役副社長執行役員	柿森 英明	取締役(監査等委員)	植松 功(*)
取締役専務執行役員	川久保 昇	取締役(監査等委員)	大山 一浩(*)
取締役常務執行役員	芹川 康介	取締役(監査等委員)	馬場 貞仁(*)
取締役 取締役 取締役 取締役 取締役 取締役 取締役 取締役	大沢 賢司		

(*)社外取締役

株式の状況

(2023年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 8,913名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	14.43
安井玄一郎	362	4.48
リック取引先持株会	320	3.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	272	3.36
リック従業員持株会	248	3.07
株式会社西日本シティ銀行	191	2.36
安井龍之助	177	2.19
園田和佳子	171	2.11
山田貴広	162	2.01
有光工業株式会社	120	1.48

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 当社は自己株式546千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除しております。

株式分布状況

(2023年3月31日現在)

所有者別株式分布状況

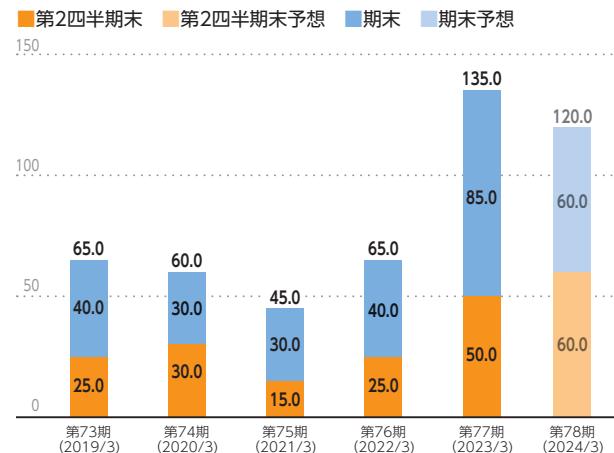


所有株数別株式分布状況



1株当たり配当金の推移

(単位:円)



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領 期末配当金 3月31日
株主確定日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する各種手続の申込先について

・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。

ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。

・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。

同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告により行います。
公告掲載
URL <https://www.rix.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

● 割当基準日 3月31日

- 優待内容
- 100株以上300株未満所有の株主様
⇒ クオカード1,000円分
 - 300株以上500株未満所有の株主様
⇒ クオカード2,000円分
 - 500株以上1,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード3,000円分
 - 1,000株以上10,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード4,000円分
 - 10,000株以上所有の株主様
⇒ クオカード10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<https://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索



RIX リックス株式会社

〒812-8672
福岡市博多区山王一丁目15番15号
TEL (092) 472-7311

UD
FONT

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915

VEGETABLE
OIL INK

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。